

プログラム

6月29日（水）	
第1会場（2F コンサートホール）	14
6月30日（木）	
第1会場（2F コンサートホール）	15
第2会場（2F 邦楽ホール）	17
第3会場（B1F 交流ホール）	21
7月1日（金）	
第1会場（2F コンサートホール）	24
第2会場（2F 邦楽ホール）	26
第3会場（B1F 交流ホール）	29
ポスター会場1（2F ホワイエ）	31
ポスター会場2（3F ホワイエ）	36

6月29日（水） 16:00-17:00

第1会場（2F コンサートホール）

基調講演

消化器がんの発生と悪性化における宿主反応—マウスモデルからの知見—

【モデレーター】 吉田 稔（国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター/東京大学大学院農学生命科学研究科）

K	消化器がんの発生と悪性化における宿主反応—マウスモデルからの知見—	42
	大島 正伸	
	金沢大学 がん進展制御研究所	

6月29日（水） 17:00-17:30

第1会場（2F コンサートホール）

Year in Review1

抗体医薬品の進歩

【モデレーター】 中村 祐輔（公益財団法人がん研究会）

YIR1	抗体医薬品の進歩	46
	高橋 俊二	
	公益財団法人がん研究会有明病院 総合腫瘍科	

6月30日 (木) 9:00-9:30

第1会場 (2F コンサートホール)

Year in Review2

AI のがん研究への導入と医療への実装

【モデレーター】 宮園 浩平 (東京大学医学系研究科)

YIR2	AI のがん研究への導入と医療への実装	46
	浜本 隆二 国立がん研究センター 研究所医療AI研究開発分野	

6月30日 (木) 9:30-11:30

第1会場 (2F コンサートホール)

シンポジウム1

先端的基礎研究から創出される新たな創薬コンセプト

【モデレーター】 清宮 啓之 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター分子生物治療研究部)
三森 功士 (九州大学病院別府病院外科)

S1-1	iPS 細胞化抵抗性を指標としたがんドライバーシグナルの同定	48
	山田 泰広 東京大学 医科学研究所	
S1-2	マイナーイントロンの制御異常による発癌機構	48
	井上 大地 神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター	
S1-3	細胞死による炎症・免疫反応を標的とした制がん	49
	柳井 秀元 東京大学 先端科学技術研究センター	
S1-4	細胞老化の分子基盤と新たながん治療への応用	49
	高橋 暁子 公益財団法人がん研究会 がん研究所 細胞老化プロジェクト	
S1-5	肝内胆管がんのゲノム多様性を凌駕して治療標的となる代謝機構	50
	大澤 毅 ¹ 、北川 彰洋 ² 、三森 功士 ² ¹ 東京大学 先端科学技術研究センター ² 九州大学病院 別府病院外科	

6月30日 (木) 11:45-12:35

第1会場 (2F コンサートホール)

ランチョンセミナー1

肺がん分子標的治療の現状と克服すべき今後の課題

【モデレーター】 間野 博行 (国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター)

LS1	肺がん分子標的治療の現状と克服すべき今後の課題
	山田 忠明 京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学

【共催】 中外製薬株式会社

総会・鶴尾隆賞・研究奨励賞授与

鶴尾 隆賞受賞講演

【モデレーター】 吉田 稔 (国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター/東京大学大学院農学生命科学研究科)

- T **がん多様性を克服するための消化器がんゲノム進化の解明**.....144
 三森 功士
 九州大学病院別府病院

シンポジウム2

女性科学者シンポジウム：女性科学者が切り開くがん分子標的創薬

【モデレーター】 大谷 直子 (大阪公立大学大学院医学研究科)
 後藤 典子 (金沢大学がん進展制御研究所)

- S2-1 **外資系製薬企業におけるダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン啓発活動、社員のキャリア支援等に関する取り組みの紹介**.....51
 大木 恵美子
 ファイザー株式会社 オンコロジー部門メディカルアフェアーズ部
- S2-2 **Fer キナーゼを標的とした新規がん治療薬の創出を目指して**.....51
 小根山 千歳
 愛知県がんセンター研究所
- S2-3 **脳腫瘍に対する新規 LSD1 阻害剤の治療効果**.....52
 新城 恵子、近藤 豊
 名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学
- S2-4 **トリプルネガティブ乳がん幹細胞の起源ルミナル前駆細胞は、Na⁺ポンプ FXYD3 を利用し抗がん剤耐性を獲得する**.....52
 李 夢嬌¹、西村 建徳¹、竹内 康人¹、秋山 徹²、後藤 典子¹
¹金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野
²東京大学定量生命科学研究所 分子情報研究分野
- S2-5 **RSK-EphA2 経路を介したがんの悪性化**.....53
 周 越¹、横山 悟¹、矢野 聖二²、櫻井 宏明¹
¹富山大学 大学院医学薬学研究部(薬学) がん細胞生物学研究室
²金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科
- S2-6 **腫瘍内微小環境の特性に基づく環境標的治療戦略**.....53
 近藤 科江、門之園 哲哉
 東京工業大学 生命理工学院

6月30日 (木) 8:00-8:50

第2会場 (2F 邦楽ホール)

モーニングセミナー

nCounterを用いたチロシンキナーゼ融合遺伝子の探索と分子標的治療への展開

【モデレーター】 竹内 伸司 (金沢大学附属病院がんゲノム医療センター)

MS nCounter を用いたチロシンキナーゼ融合遺伝子の探索と分子標的治療への展開

齋藤 剛

順天堂大学 医学部 人体病理病態学

【共催】 ナノストリング・テクノロジー

6月30日 (木) 9:30-10:30

第2会場 (2F 邦楽ホール)

ワークショップ1

免疫療法・抗体療法 1

【モデレーター】 馬場 英司 (九州大学大学院医学研究院連携社会医学分野)

埴淵 昌毅 (徳島大学大学院医歯薬学研究部地域呼吸器・血液・代謝内科学分野)

- W1-1 EGFR 阻害剤に依存した HER3 発現亢進と抗 HER3 抗体薬物複合体パトリツマブ デルクステカンの抗腫瘍効果について60
 米阪 仁雄¹、坂井 和子²、西尾 和人²、中川 和彦¹
¹近畿大学医学部腫瘍内科
²近畿大学医学部ゲノム生物学教室
- W1-2 腫瘍内における自然免疫と獲得免疫の相互作用により、腫瘍細胞特異的な抗体がドミナントになっている60
 古谷 弦太、加藤 洋人、石川 俊平
 東京大学 大学院医学系研究科 社会医学専攻 衛生学分野
- W1-3 血小板/リンパ球比の高値は尿路上皮がんに対するペンブロリズマブ治療における不良な予後と関連する61
 安藤 清宏
 埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所
- W1-4 腫瘍ライセートを用いた術前がんワクチン療法は低悪性度神経膠腫における T 細胞免疫応答を誘導する61
 荻野 広和^{1,2}、西條 敦郎^{1,2}、西岡 安彦¹
¹徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
²カリフォルニア大学サンフランシスコ校 脳神経外科
- W1-5 免疫チェックポイント阻害薬および血管新生阻害薬併用療法における腫瘍内 fibrocyte の機能解析62
 三橋 惇志¹、荻野 広和¹、ヌーイエン ナー シー¹、米田 浩人¹、大塚 憲司¹、杉本 正道²、根東 攝²、軒原 浩¹、西岡 安彦¹
¹徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
²中外製薬株式会社プロダクトリサーチ部

ワークショップ3

免疫療法・抗体療法 2

【モデレーター】 田原 秀晃 (東京大学医科学研究所・大阪国際がんセンター)
照井 康仁 (埼玉医科大学病院血液内科)

- W3-1 A2aR 阻害は Pten 欠損前立腺癌マウスにおいて CTLA4 抗体の抗腫瘍活性を増強する65
倉 由吏恵^{1,2}、デベラスコ マルコ^{1,2}、坂井 和子¹、植村 天受²、西尾 和人¹
¹近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
²近畿大学 医学部 泌尿器科学教室
- W3-2 免疫関連腸炎と潰瘍性大腸炎の機能的類似性と非類似性に関する検討65
坂井 和子¹、デベラスコ マルコ¹、倉 由吏恵¹、高濱 隆幸²、中川 和彦²、西尾 和人¹
¹近畿大学医学部ゲノム生物学教室
²近畿大学医学部腫瘍内科
- W3-3 小細胞肺癌に対する WEE1 阻害薬での抗 PD-L1 抗体の抗腫瘍免疫反応の増強66
谷口 寛和^{1,2}、迎 寛¹
¹長崎大学病院 呼吸器内科
²メモリアルスローンケタリングがんセンター
- W3-4 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌における効率的な HER2 内在化の解明と HER2 抗体薬物複合体の効果の検討66
堤 央乃、岩間 映二、岡本 勇
九州大学大学院医学研究院 胸部疾患研究施設

ランチョンセミナー2

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学医薬保健研究域医学系 呼吸器内科学)

- LS2-1 RCT と RWE から再考する EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の適切な治療戦略とは
佐々木 高明
旭川医科大学病院 呼吸器センター
- LS2-2 ドライバー遺伝子変異陽性肺癌の分子標的治療薬の耐性克服を目指して
堀田 勝幸
岡山大学病院 新医療研究開発センター臨床研究部

【共催】 アストラゼネカ株式会社

ワークショップ5

細胞死・細胞周期

【モデレーター】 片桐 豊雅 (徳島大学先端酵素学研究所)

旦 慎吾 ((公財) がん研究会がん化学療法センター分子薬理部)

- W5-1 水酸化酵素 OGFOD1 は肺腺癌細胞増殖の key 分子群 mRNA の活性化を新規機構を介し制御している69
齋藤 憲、近藤 英作
新潟大学 大学院医歯学総合研究科 分子細胞病理学
- W5-2 Statins は KRAS 変異大腸がん細胞におけるオキサリプラチンの抗腫瘍効果を増強し、オキサリプラチンによる末梢神経障害を抑制する70
松田 拓弥、椿 正寛、武田 朋也、木村 智裕、田中 滯美、西田 升三
近畿大学薬学部薬物治療学研究室
- W5-3 成人 T 細胞性白血病/リンパ腫細胞におけるジメチルフルマル酸の NF- κ B 経路と STAT3 経路の抑制70
前田 峻大、高野 幹、小宅 達郎、伊藤 薫樹
岩手医科大学附属病院 内科学講座 血液腫瘍内科分野
- W5-4 新規葉酸代謝拮抗剤 MTHFD2 阻害剤と Chk1 阻害剤の併用による細胞死誘導71
西村 建徳¹、Lee Jin²、Li Mengjiao¹、後藤 典子¹
¹金沢大学 がん進展制御研究所
²東京大学 院 新領域

ワークショップ7

がん幹細胞・不均一性

【モデレーター】 佐谷 秀行 (藤田医科大学 がん医療研究センター)

平尾 敦 (金沢大学がん進展制御研究所)

- W7-1 シングルセル系譜解析による大腸がん患者由来 drug-tolerant persister 細胞の追跡73
森野 峻^{1,2}、馬島 哲夫¹、片山 量平^{2,3}、清宮 啓之^{1,2}
¹(公財) がん研・がん化療センター・分子生物治療
²東大・院・新領域・メディカル情報生命
³(公財) がん研・がん化療センター・基礎
- W7-2 3D 培養におけるがん一問質相互作用の解析74
立田 大輔、吉田 潤次郎、川田 学
微生物化学研究所 第1生物活性研究部
- W7-3 1 細胞解析で見えてきた隣がん腫瘍内不均一性と ROR1 高発現 Tumor-initiating cell を標的とした治療への応用74
山崎 昌哉
熊本大学 大学院生命科学研究部 病態生化学講座
- W7-4 多クローン性肝細胞がんの患者は、早期再発のリスクが高く、無再発生存期間も短い75
西尾 和人、坂井 和子、デベラスコ マルコ
近畿大学 医学部 ゲノム生物学

ワークショップ9

微小環境・血管新生・低酸素

【モデレーター】 今村 健志 (愛媛大学)

近藤 英作 (新潟大学医学部分子病理学)

W9-1 pH-low insertion peptide で捉える転移予定臓器における組織 pH の変化77

戸田 侑紀、松井 透磨、細木 誠之、芦原 英司

京都薬科大学 薬学部 病態生理学分野

W9-2 乳がん細胞における O 型糖鎖修飾 IRE1 経路の恒常的活性化を標的とした新規治療戦略の可能性 ...78

内山 圭司、松下 洋輔、吉丸 哲郎、萩原 浩生、片桐 豊雅

徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

W9-3 ミトコンドリア complex I 阻害剤による細胞内外の酸性化を介した新規抗がんメカニズム78

吉田 潤次郎¹、雨宮 昌秀¹、立田 大輔¹、大石 智一²、大庭 俊一²、旦 慎吾³、川田 学^{1,2}¹微生物化学研究所 第1生物活性研究部²微生物化学研究所 沼津支所・動物施設³がん研究会 がん化学療法センターW9-4 免疫チェックポイントを標的としたがん光免疫療法は腫瘍微小環境編集改変を誘導し、
十分な抗腫瘍効果を発揮する79佐藤 和秀^{1,2,3,4}¹名古屋大学高等研究院²名古屋大学大学院医学系研究科³名古屋大学医学系研究科呼吸器内科学⁴名古屋大学最先端イメージング分析センター／医工連携ユニット

イブニングセミナー1

アルンブリグを使用する理由はどこにあるのか？
～押さえておきたいポイントからALK阻害剤を考察する～

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科)

ES1 アルンブリグを使用する理由はどこにあるのか？

～押さえておきたいポイントから ALK 阻害剤を考察する～

田宮 基裕

大阪国際がんセンター

【共催】 武田薬品工業株式会社

6月30日 (木) 9:30-10:30

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ2

バイオマーカー・がんゲノム医療

【モデレーター】 伊藤 研一 (信州大学医学部外科学教室乳腺内分泌外科学分野)
木村 英晴 (金沢大学附属病院呼吸器内科)

- W2-1 未治療 EGFR 遺伝子変異陽性肺がんのオシメルチニブ治療における腫瘍内 PD-L1 発現の意義：多施設共同前向き観察研究.....62
平井 聡一、吉村 彰紘、山田 忠明
京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学
- W2-2 進行性尿路上皮癌に対するペンブロリズマブの治療効果と骨髄由来免疫抑制細胞 (MDSC) との関係.....63
脇田 春彦、永田 政義、堀江 重郎
順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学
- W2-3 次世代シーケンス法または単一遺伝子分析を使用した非小細胞肺癌患者におけるドライバー突然変異分析の成功率.....63
丹保 裕一、木村 英晴、矢野 聖二
金沢大学附属病院 呼吸器内科
- W2-4 当院でがんゲノムプロファイリング検査を行った胸部悪性疾患症例の検討.....64
石田 真樹、森本 吉恵、山田 忠明
京都府立医科大学附属病院呼吸器内科
- W2-5 脳腫瘍における遺伝子パネル検査の現状と課題 -当院での経験を踏まえて-64
笹川 泰生¹、竹内 伸司²、矢野 聖二²
¹金沢大学附属病院 脳神経外科
²金沢大学附属病院 がんセンター

6月30日 (木) 10:30-11:30

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ4

キナーゼ阻害薬 1

【モデレーター】 西尾 和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学)
関戸 好孝 (愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学分野)

- W4-1 甲状腺未分化癌における lenvatinib+IRAK1/4 Inhibitor I 併用療法の抗腫瘍効果の検討.....67
川村 佳史¹、西條 憲¹、今井 源¹、石岡 千加史^{1,2}
¹東北大学病院 腫瘍内科
²東北大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学分野
- W4-2 ALK 融合遺伝子陽性肺がんにおける EGFR シグナル活性化を介した Lorlatinib の初期治療抵抗性機構の解明.....67
片山 勇輝¹、谷村 恵子¹、森本 健司¹、堀中 真野²、酒井 敏行²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学
²京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学
- W4-3 野生型 FLT3 を標的とした新規シズ化合物の創製と評価.....68
中山 淳
国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット
- W4-4 透析患者における転移性腎癌に対する薬物療法の治療成績.....68
岩佐 俊、水野 隆一、大村 美波、小坂 威雄、大家 基嗣
慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室

- W4-5 免疫組織化学法を用いた分子標的治療薬アフチニブの局在解析.....69
 山本 祐太郎¹、山本 雄大²、齋田 哲也³
¹金沢大 薬学系
²佐賀大 医学部
³崇城大 生物生命

6月30日 (木) 11:45-12:35

第3会場 (B1F 交流ホール)

ランチョンセミナー3

がん免疫治療における免疫抑制を考える -制御性T細胞標的療法の可能性-

【モデレーター】 片山 量平 (がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部)

LS3 がん免疫治療における免疫抑制を考える -制御性 T 細胞標的療法の可能性-

前田 優香

国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野

【共催】 MSD株式会社

6月30日 (木) 14:35-15:23

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ6

増殖因子・サイトカイン・その他

【モデレーター】 大家 基嗣 (慶應義塾大学医学部泌尿器科)
 松本 邦夫 (金沢大学がん進展制御研究所)

W6-1 HGF/Met/NF-kappaB 経路による骨芽細胞および骨髄間質細胞における RANKL 発現の制御機構 71
 岸本 佳奈、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、竹藤 帆花、西田 升三
 近畿大学薬学部薬物治療学研究室

W6-2 転移ニッチ形成における HGF-MET シグナルの活性化と環状ペプチド阻害.....72
 佐藤 拓輝^{1,2}、矢野 聖二^{3,4}、松本 邦夫^{1,2,4}
¹金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍動態制御研究分野
²金沢大学 新学術創成研究機構
³金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科
⁴金沢大学 ナノ生命科学研究所

W6-3 ケモカイン受容体シグナル制御分子 FROUNT を標的としてマクロファージの活性化を制御する72
 寺島 裕也、松島 綱治
 東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門

W6-4 異なるがん悪性度で ALA 取り込みトランポーター発現量の変化における ALA-PDT の効率.....73
 ライ ハンウェイ¹、山本 新九郎^{1,2}、井上 啓史^{1,2}
¹高知大学 医学部 光線医療センター
²高知大学 医学部 泌尿器科学講座

6月30日 (木) 15:25-16:13

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ8

浸潤・転移

【モデレーター】 田中 真二 (東京医科歯科大学)
 泉 浩二 (金沢大学泌尿器集学的治療学)

W8-1 MET/VEGFR 複合阻害によるスキルス癌性腹膜炎発症進展抑制75
 安本 和生、葛西 傑
 金沢医科大学 医学部 腫瘍内科学講座

- W8-2 マウスモデルを用いた大腸がんの幹細胞性・転移形成能に関するシグナル経路の解析.....76
青木 正博^{1,2}、武藤 誠³、藤下 晃章¹
¹愛知県がんセンター研究所 がん病態生理学分野
²名古屋大学大学院医学系研究科 がん病態生理学分野
³京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)
- W8-3 Sorafenib による c-Kit 遺伝子増幅転移性悪性黒色腫での腫瘍増殖および転移抑制効果.....76
田中 滂美、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、岸本 佳奈、西田 升三
近畿大学薬学部薬物治療学研究室
- W8-4 プラスミノゲン活性化抑制因子-1 の阻害は大腸がん肝転移を抑制する.....77
大石 智一¹、大庭 俊一¹、川田 学^{1,2}
¹微生物化学研究所 沼津支所
²微生物化学研究所 第1生物活性研究部

6月30日 (木) 16:15-17:03

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ10

エピゲノム・核酸医薬

- 【モデレーター】 稲澤 譲治 (東京医科歯科大学リサーチコアセンター)
田原 栄俊 (広島大学 大学院医系科学研究科 細胞分子生物学研究室)
- W10-1 大腸癌骨盤内再発モデルに対する合成 miRNA-143 の有効性の検討.....79
有馬 純¹、谷口 高平²、赤尾 幸博³、平島 一輝³、杉戸 信彦³、内山 和久¹
¹大阪医科薬科大学 一般・消化器外科
²大阪医科薬科大学 TR部門
³岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
- W10-2 化学修飾 MIR143#12 の複合的遺伝子発現抑制による抗がん活性.....80
杉戸 信彦、平島 一輝、赤尾 幸博
岐阜大院・連合創薬医療情報研究科
- W10-3 新規老化関連マイクロ RNA である miR-3140-3p は悪性胸膜中皮腫を治療する核酸医薬となりうる....80
山本 佑樹^{1,2}、山下 翔平²、高橋 陵宇^{1,2}、田原 栄俊^{1,2}
¹広島大学大学院 医系科学研究科 細胞分子生物学
²広島大学 薬学部 細胞分子生物学
- W10-4 成人 T 細胞白血病/リンパ腫におけるメチオニン代謝を介したエピゲノム調節機構の治療標的としての可能性.....81
渡邊 達郎¹、倉橋 祐樹^{1,2}、蒲池 和晴^{1,3}、山本 雄大^{1,3}、川副 和紀^{1,3}、嬉野 博志^{1,3}、末岡 榮三朗⁴、木村 晋也^{1,3}
¹佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座
²大原薬品工業株式会社
³佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
⁴佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座

6月30日 (木) 18:40-19:30

第3会場 (B1F 交流ホール)

イブニングセミナー2

がん薬物療法誘発性悪心・嘔吐のメカニズムと制吐療法

- 【モデレーター】 西岡 安彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野)
- ES2 がん薬物療法誘発性悪心・嘔吐のメカニズムと制吐療法
乾 直輝
国立大学法人浜松医科大学 臨床薬理学講座

【共催】大鵬薬品工業株式会社

7月1日 (金) 9:00-9:30

第1会場 (2F コンサートホール)

Year in Review3

新型コロナウイルスワクチンに関する最新の話

【モデレーター】 杉尾 賢二 (大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座)

YIR3	新型コロナウイルスワクチンに関する最新の話.....47
	中出 順也 ^{1,2}
	¹ 金沢大学附属病院 薬剤部
	² 金沢大学附属病院 感染制御部

7月1日 (金) 9:30-11:30

第1会場 (2F コンサートホール)

シンポジウム3

新しい治療モダリティ

【モデレーター】 井上 啓史 (高知大学医学部泌尿器科学講座)

森 聖寿 (協和キリン株式会社 研究開発本部 疾患サイエンス第2研究所)

S3-1	悪性脳腫瘍における5-アミノレブリン酸の役割 ~PDDとRDT~54
	山本 淳考
	産業医科大学 脳神経外科
S3-2	アミノレブリン酸を用いたがんの光線力学診療.....54
	小倉 俊一郎 ^{1,3} 、井上 啓史 ^{2,3}
	¹ 東京工業大学 生命理工学院
	² 高知大学 医学部 泌尿器科
	³ 高知大学 医学部 光線医療センター
S3-3	免疫チェックポイント分子阻害剤を基盤とした科学的妥当性を有する併用療法についての現状と課題...55
	地主 将久
	ギリアドサイエンシズ
S3-4	臨床から考える腎泌尿器がんにたいする免疫療法薬 (IO) とチロシンキナーゼ阻害薬 (TKI) の併用療法.....55
	辛島 尚、井上 啓史
	高知大学医学部 泌尿器科学教室
S3-5	アルファ線放出核種アスタチン-211 結合抗体の前臨床試験.....56
	高島 大輝 ¹ 、眞鍋 史乃 ^{2,3,4} 、大貫 和信 ⁵ 、古賀 宣勝 ^{1,6} 、津村 遼 ¹ 、安西 高廣 ¹ 、WANG Yang ⁷ 、YIN Xiaojie ⁷ 、佐藤 望 ⁷ 、重河 優大 ⁷ 、南部 明弘 ⁷ 、白田 祥子 ⁷ 、羽場 宏光 ⁷ 、藤井 博史 ⁵ 、松村 保広 ⁸ 、安永 正浩 ¹
	¹ 国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野
	² 星薬科大学 機能分子創成化学研究室
	³ 東北大学 薬学研究科 医薬品開発研究センター
	⁴ 理化学研究所 糖鎖代謝生化学研究室
	⁵ 国立がん研究センター 先端医療開発センター 機能診断開発分野
	⁶ 国立がん研究センター 先端医療開発センター 研究企画推進部門
	⁷ 理化学研究所 仁科加速器科学研究センター 核化学研究チーム
	⁸ 国立がん研究センター 研究所 免疫創薬部門
S3-6	生体内合成化学治療.....56
	田中 克典 ^{1,2}
	¹ 理化学研究所 開拓研究本部 田中生体機能合成化学研究室
	² 東京工業大学 物質理工学院 応用化学系

7月1日 (金) 11:45-12:35 第1会場 (2F コンサートホール)

ランチョンセミナー4
遺伝子変化にもとづくがん診療：RET&Beyond

【モデレーター】 伊藤 研一 (信州大学医学部 外科学教室 乳腺内分泌外科学分野)

LS4 遺伝子変化にもとづくがん診療：RET&Beyond

河野 隆志
国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野

【共催】 日本イーライリリー株式会社

7月1日 (金) 13:35-14:35 第1会場 (2F コンサートホール)

特別講演
タンパク質分子の形状と動きを直接観察できる高速原子間力顕微鏡

【モデレーター】 矢野 聖二 (金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科)

SP タンパク質分子の形状と動きを直接観察できる高速原子間力顕微鏡.....43

古寺 哲幸
金沢大学 ナノ生命科学研究所

7月1日 (金) 14:35-16:35 第1会場 (2F コンサートホール)

シンポジウム4
日本発の産官学連携によるがん分子標的創薬

【モデレーター】 藤田 直也 (公益財団法人がん研究会がん化学療法センター)
川田 学 (公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所)

S4-1 AMED57

仁平 新一
(一社) オンコロジー学術研究フォーラム

S4-2 膠芽腫に対する核酸治療薬の開発を目指して57

近藤 豊
名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学

S4-3 日本における革新的医薬品の創出に向けた取り組みと期待58

池浦 義典
Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社

S4-4 新規 EZH1/2 阻害薬 valemestostat (DS-3201)の研究開発58

本間 大輔
第一三共株式会社 オンコロジー第二研究所 第二グループ

S4-5 新規抗がん剤創出に向けた産官学連携によるシナジー59

横井 晃
エーザイ株式会社

7月1日（金） 9:30-10:00

第2会場（2F 邦楽ホール）

教育講演1

我が国の利益相反（COI）管理と国際基準への整合化

【モデレーター】 石岡 千加史（東北大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学分野）

- RS1 我が国の利益相反（COI）管理と国際基準への整合化44
 曾根 三郎
 日本医学会利益相反委員会

7月1日（金） 10:00-10:30

第2会場（2F 邦楽ホール）

教育講演2

患者由来がん三次元細胞培養の臨床応用

【モデレーター】 田中 伸哉（北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室）

- RS2 患者由来がん三次元細胞培養の臨床応用44
 井上 正宏
 京都大学医学研究科

7月1日（金） 10:30-11:00

第2会場（2F 邦楽ホール）

教育講演3

承認審査の概要 ～最近承認された抗がん剤の概況と評価の考え方～

【モデレーター】 内藤 幹彦（東京大学大学院薬学系研究科）

- RS3 承認審査の概要 ～最近承認された抗がん剤の概況と評価の考え方～45
 清原 宏真
 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）

7月1日（金） 11:00-11:30

第2会場（2F 邦楽ホール）

教育講演4

Hit to Lead GenerationからPhase I試験まで—製薬企業の考え方—

【モデレーター】 木村 晋也（佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科）

- RS4 Hit to Lead Generation から Phase I 試験まで—製薬企業の考え方—45
 秋永 士朗
 ナノキャリア株式会社

ランチョンセミナー5

抗CTLA-4抗体併用の意義

【モデレーター】 高橋 利明 (静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科)

LS5 抗 CTLA-4 抗体併用の意義

富樫 庸介

岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野

【共催】 小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

ワークショップ13

耐性因子・感受性因子 1

【モデレーター】 片山 量平 (公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部)
山田 忠明 (京都府立医科大学)

- W13-1 *MET* 遺伝子増幅に依存した *KRAS*^{G12C} 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌の RAS あるいは非 RAS シグナルを介した *KRAS* 阻害剤への耐性86
鈴木 慎一郎¹、米阪 仁雄¹、坂井 和子²、西尾 和人²、中川 和彦¹
¹近畿大学医学部 腫瘍内科
²近畿大学医学部 ゲノム生物学教室
- W13-2 小細胞肺癌において *BCL2* 発現をもたらすオーロラ B キナーゼ阻害薬の耐性とその克服87
谷本 梓
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
- W13-3 未治療 *EGFR* 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ治療効果と腫瘍内 *AXL* 発現に関する検討87
吉村 彰紘¹、芹澤 昌邦²、谷村 恵子¹、上原 久典³、矢野 聖二⁴、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学
²静岡県立静岡がんセンター研究所 新規薬剤開発・評価研究部
³徳島大学病院 病理部
⁴金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科研究分野
- W13-4 非小細胞肺癌における可逆的 *EGFR*-TKI 耐性機序の解明88
芳賀 優弥
大阪大学大学院 薬学研究科
- W13-5 トラスツズマブ耐性 *HER2* 陽性乳がんの克服に向けた *BIG3*-*PHB2* 相互作用を標的とした持続型阻害ペプチドの開発88
吉丸 哲郎、松下 洋輔、片桐 豊雅
徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

ワークショップ15

耐性因子・感受性因子 2

【モデレーター】 谷口 寛和 (長崎大学 呼吸器内科)

根東 攝 (中外製薬株式会社 メディカルPHC 推進部)

- W15-1 Serum/Glucocorticoid Regulated Kinase 1/NF- κ B 経路活性化が多発性骨髄腫においてプロテアソーム阻害薬耐性に寄与する91
木村 智裕、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、竹藤 帆花、西田 升三
近畿大学薬学部薬物治療学研究室
- W15-2 Perifosine は PIK3CA 変異大腸癌においてオキサリプラチン及び 5-フルオロウラシルの感受性を増大させる92
竹藤 帆花、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、木村 智裕、西田 升三
近畿大学薬学部薬物治療学研究室
- W15-3 トリプルネガティブ乳癌における RHBDL2 のグルタミン代謝調節機構の解明92
松下 洋輔、吉丸 哲郎、片桐 豊雅
徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野
- W15-4 ERK1/2-MAP キナーゼ経路の恒常的活性化がん細胞における HDAC 阻害剤併用療法とオートファジー活性との関係93
尾崎 恵一¹、西村 唯¹、永井 夏鈴¹、福永 理己郎²
¹同志社女子大学 薬学部 病態分子制御
²大阪医科薬科大学 薬学部 生化学
- W15-5 胃がんにおける抗 VEGFR2 抗体投与後の幹細胞関連因子発現と治療抵抗性には宿主由来の VEGF-A 誘導が寄与する93
馬島 哲夫、清宮 啓之
(公財)がん研・がん化療セ・分子生物治療

7月1日 (金) 9:30-10:30

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ11

ケミカルバイオロジー

【モデレーター】 長田 裕之 (静岡県立大学薬学部)
清水 史郎 (慶応義塾大学)

- W11-1 抗腫瘍活性を有する新規 DHODH 阻害剤の同定**.....81
川谷 誠¹、青野 晴美¹、室井 誠¹、大石 智一²、大庭 俊一²、川田 学²、旦 慎吾³、長田 裕之¹
¹理研CSRS ケミカルバイオロジー研究グループ
²微生物化学研究所 沼津支所
³がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部
- W11-2 制がん性グアニン四重鎖リガンドの薬力学的バイオマーカーとしてのミトコンドリア RNA の発現変動**.....82
岡部 幸子¹、新家 一男²、長澤 和夫³、清宮 啓之¹
¹公益財団法人がん研究会がん化学療法センター分子生物治療研究部
²産業技術総合研究所生命工学領域創薬基盤研究部門
³東京農工大学大学院工学研究院生命工学専攻
- W11-3 ヒストンメチル化酵素 G9a 阻害剤 RK-701 による白血病細胞の増殖抑制機構**.....82
高瀬 翔平¹、大石 智一²、大庭 俊一²、川田 学²、吉田 稔^{3,4,5}、伊藤 昭博^{1,3}
¹東京薬科大・生命科学
²微化研・動物施設
³理研CSRS・ケミカルゲノミクス
⁴理研CSRS・創薬シード
⁵東大院農・応生工、微生物連携機構
- W11-4 スプライシング阻害剤はトランケート型タンパク質の産生を介して抗がん活性を発揮する**.....83
甲斐田 大輔
富山大学 医学部
- W11-5 eIF5A ハイプシニン化阻害剤 GC7 による細胞増殖抑制の標的経路の解析**.....83
松本 健^{1,2}、堂前 直³、吉田 稔^{1,2,4}
¹理研CSRS・ケミカルゲノミクス
²理研CSRS・創薬シード
³理研CSRS・生命分子解析
⁴東大院農・応生工、微生物連携機構

7月1日 (金) 10:30-11:30

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ12

キナーゼ阻害薬 2

【モデレーター】 南 陽介 (国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科)
櫻井 宏明 (富山大学)

- W12-1 個体表現型スクリーニングによる新規膀胱がん治療薬の開発**.....84
園下 将大
北海道大学 遺伝子病制御研究所 がん制御学分野
- W12-2 FLT3 阻害薬に重複耐性を示す急性骨髄性白血病細胞の耐性機構解析**.....84
片山 和浩
日本大学・薬学部・分子標的治療学研究室
- W12-3 肺癌における新規作用機序チロシンキナーゼ阻害剤の解析**.....85
津田 真寿美^{1,2}、王 磊^{1,2}、田中 伸哉^{1,2}
¹北海道大学大学院 医学研究院 腫瘍病理学教室
²北海道大学化学反応創成研究拠点

- W12-4 ALK 融合遺伝子陽性肺癌における JNK/c-Jun 経路活性化を介した ALK 阻害薬抵抗性機構の解明....85
 谷村 恵子¹、堀中 真野²、米田 和恵³、矢野 聖二⁴、酒井 敏行²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学
²京都府立医科大学大学院 医学研究科 創薬医学
³産業医科大学 医学部 第2外科
⁴金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
- W12-5 染色体転座陽性肉腫におけるクラス 1A PI3K アイソフォームの機能解析.....86
 礒山 翔、玉城 尚美、且 慎吾
 公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 分子薬理部

7月1日 (金) 11:45-12:35

第3会場 (B1F 交流ホール)

ランチョンセミナー6

世界初のKRAS G12C阻害剤 ～臨床応用までの道のり～

【モデレーター】 岡本 勇 (九州大学大学院医学研究院 呼吸器内科学分野)

LS6 世界初の KRAS G12C 阻害剤 ～臨床応用までの道のり～

葉 清隆
 国立がん研究センター東病院 呼吸器内科

【共催】 アムジェン株式会社

7月1日 (金) 14:35-15:35

第3会場 (B1F 交流ホール)

ワークショップ14

新規治療標的

【モデレーター】 冨田 章弘 (がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部)
 小根山 千歳 (愛知県がんセンター研究所)

W14-1 新規ラミニン γ 2 融合遺伝子による悪性化進展の分子機序の解明89

越川 直彦^{1,2}、宮城 洋平²
¹東京工業大学 生命理工学院
²神奈川県立がんセンター臨床研究所

W14-2 TELO2 へのイベルメクチンの結合は PI3K 関連キナーゼ機能を制御する.....89

西谷 直之¹、米澤 穂波¹、氏家 悠貴^{1,2}、上原 至雅¹
¹岩手医科大学 薬学部 臨床薬学講座 情報薬科学分野
²岩手医科大学 附属病院 薬剤部

W14-3 AT9283 は BCR-ABL 阻害剤感受性および抵抗性の慢性骨髄性白血病細胞での Aurora A および Aurora B 阻害を介したアポトーシス誘導効果.....90

武田 朋也、椿 正寛、松田 拓弥、岸本 佳奈、田中 滯美、西田 升三
 近畿大学薬学部薬物治療学研究室

W14-4 ミトコンドリア BIG3-PHB2 複合体ネットワークの脆弱性を標的としたトリプルネガティブ乳癌治療法の開発.....90

相原 仁、吉丸 哲郎、片桐 豊雅
 徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

W14-5 JAK 非依存的 IRF1 誘導による免疫原性の増強91

横山 悟、周 越、櫻井 宏明
 富山大学 医学薬学研究部 (薬学) がん細胞生物学研究室

6月30日 (木) 17:15-17:51

ポスター会場1 (2F ホワイエ)

ポスター1

発がん機構・がん遺伝子・がん抑制遺伝子

【モデレーター】 西村 建徳 (金沢大学がん進展制御研究所)

- P1-1 大腸癌における染色体 7q 上の PRKR interacting protein 1 発現と臨床的意義の関連.....94
大里 祐樹
九州大学病院別府病院 外科
- P1-2 酸化ストレスおよび抗がん剤耐性の促進に必要な SMAD3 機能ドメインの同定.....94
横山 隆志¹、齋藤 正夫²、宮澤 恵二¹
¹山梨大学 大学院総合研究部 医学域 生化学講座第2教室
²山梨大学 医学部 総合医科学センター
- P1-3 TMEPAI 遺伝子ファミリー欠損マウスにおける消化管腺腫形成抑制機構の解明.....95
内田 吉美、中野 なおこ、伊東 進
昭和薬科大学 薬学部 生化学研究室
- P1-4 eIF4B は骨髄線維症において CAMK2G と相互作用をし、悪性を促進する.....95
佐々木 謙¹、黒川 峰夫^{1,2}
¹東京大学病院 血液腫瘍内科
²東京大学病院 無菌治療部
- P1-5 エステロールのマウス初期乳がんの抑制効果.....96
田中 直、戸井 雅和、伊東 潤二
京都大学大学院 医学研究科 乳腺外科
- P1-6 リジン長鎖アシル化修飾による転写因子 TEAD の機能制御機構の解析.....96
則次 恒太¹、堂前 直²、吉田 稔^{3,4}、伊藤 昭博^{1,3}
¹東京薬科大・生命科学
²理研 CSRS・生命分子解析
³理研 CSRS・ケミカルゲノミクス
⁴東大院農・応生工、微生物連携機構

6月30日 (木) 17:15-17:39

ポスター会場1 (2F ホワイエ)

ポスター2

細胞死・細胞周期・DNA修復

【モデレーター】 嬉野 博志 (広島大学 原爆放射線研究所)

- P2-1 インドシアニングリーン含有ハイブリッドリポソームによる光線力学療法.....97
香月 勇紀、宮本 英、奥村 真樹、市原 英明、松本 陽子
崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻
- P2-2 トレハロースリポソームの脳腫瘍に対する治療効果.....97
高橋 純女、奥村 真樹、市原 英明、松本 陽子
崇城大学 大学院 工学研究科 応用生命科学専攻
- P2-3 オミクスデータに基づく細胞密度依存的なフェロトーシス抵抗性の解析.....98
白濱 仁深、富田 章弘
(公財) がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部
- P2-4 脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.....98
井上 靖道
名古屋市立大学 大学院薬学研究科 細胞情報学分野

ポスター3

がんゲノム・エピゲノム・マイクロRNA

【モデレーター】 馬島 哲夫 (がん研究会がん化学療法センター)

- P3-1 EZH2 と G9a の共阻害はインターフェロンシグナルと IRF4-MYC シグナルを制御することで多発性骨髄腫細胞の増殖を抑制する99
鈴木 拓
札幌医科大学医学部分子生物学講座
- P3-2 メニン関連遺伝子変異を有する急性骨髄性白血病: HM-SCREEN-JAPAN0199
池 成基、南 陽介
国立がん研究センター東病院
- P3-3 膵胆道疾患における胆汁中癌抑制型 miRNA のメチル化異常の検討と血漿への応用100
大坪 公士郎、新井 祥子、福田 康二、坂口 裕之、鈴木 千晶、西山 明宏、南條 成輝、竹内 伸司、矢野 聖二
金沢大学附属病院 がんセンター
- P3-4 新規老化関連マイクロ RNA を用いた膵臓がん治療の可能性100
山下 翔平^{1,2}、山本 佑樹^{1,2}、高橋 凌宇^{1,2}、田原 栄俊^{1,2}
¹広島大学 薬学部 細胞分子生物学
²広島大学大学院 医系科学研究科 細胞分子生物学
- P3-5 エピジェネティクスコントロールキャリアを用いたがん細胞に対する細胞老化誘導101
木村 隼太郎、川上 浩良
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域
- P3-6 KRAS ネットワークを標的としたマイクロ RNA ナノメディシンの開発101
宮本 寛子、北出 幸夫
愛知工業大学 工学部 応用化学科

ポスター4

微小環境・血管新生・低酸素

【モデレーター】 泉 浩二 (金沢大学泌尿器集学的治療学)

- P4-1 ヒトメラノーマ細胞において血管擬態はチロシナーゼにより抑制される102
加茂 広貴、川原 遼太、清水 史郎
慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
- P4-2 乳がん細胞における O 結合型糖鎖修飾 GRP78/Bip の役割解明と創薬研究102
萩原 浩生、内山 圭司、吉丸 哲郎、松下 洋輔、片桐 豊雅
徳島大学 先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野
- P4-3 KRAS 阻害剤ががん微小環境に与える影響に関する検討103
田中 伯享、坂本 毅治
関西医科大学附属生命医学研究所 がん生物学部門
- P4-4 骨肉腫に対する新規治療法としての骨分化誘導の可能性103
青木 拓海^{1,2}、竹本 愛¹、小池 清恵¹、片山 量平^{1,2}、藤田 直也³、高木 聡¹
¹ (公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
² 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
³ (公財) がん研究会 がん化学療法センター

P4-5 細胞質アダプタータンパク FRS2 β は、乳がん形成を促進する炎症性サイトカインリッチ環境を形成する.....104

竹内 康人¹、村山 貴彦¹、西村 建徳¹、佐谷 秀行³、北林 一生²、後藤 典子¹

¹金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野

²国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野

³慶應義塾大学 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門

6月30日 (木) 18:00-18:36

ポスター会場1 (2F ホワイエ)

ポスター9

新規治療標的 2

【モデレーター】 西山 明宏 (金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科)

P9-1 EML4-ALK 陽性肺がん細胞における MK2 を介した EphA2 の非定型的な活性調節.....116

浜田 成¹、周 越¹、横山 悟¹、矢野 聖二²、櫻井 宏明¹

¹富山大学 大学院医学薬学研究部(薬学) がん細胞生物学研究室

²金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科

P9-2 肺腺癌におけるアロマターゼの意義と細胞増殖能への影響.....116

大和田 竜司、矢澤 理麻、田中 大暉、調 憲、六代 範

群馬大学・大学院医学系研究科

P9-3 DNA メチル化阻害剤は E3 ユビキチンリガーゼによる SLAF7 経路の制御を行い多発性骨髄腫に対して抗腫瘍効果を発現する.....117

山本 雄大^{1,2}、嬉野 博志^{1,2}、蒲池 和晴^{1,2}、川副 和紀^{1,2}、倉橋 祐樹³、渡邊 達郎¹、木村 晋也^{1,2}

¹佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座

²佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科

³大原薬品工業株式会社

P9-4 進行性尿路上皮がんに対して Enfortumab Vedotin を投与した 5 例の初期経験.....117

中川 竜之介、泉 浩二、青山 周平、門本 卓、八重樫 洋、溝上 敦

金沢大学泌尿器集学的治療分野

P9-5 大腸癌患者由来の癌幹細胞スフェロイドを用いた FGFR 阻害薬感受性スクリーニング.....118

山本 健人^{1,2}、北野 翔一²、武藤 誠²

¹田附興風会医学研究所北野病院 消化器外科

²京都大学医学部附属病院 iACT 大腸がん新個別化治療プロジェクト

P9-6 褐色細胞腫・パラガングリオーマに対する治療の現状と治療標的の探索.....118

大本 晃弘、高橋 俊二

がん研究会有明病院 総合腫瘍科

ポスター10

免疫療法・抗体療法

【モデレーター】 早川 芳弘 (富山大学 和漢医薬学総合研究所)

- P10-1 進行非小細胞肺癌患者を対象としたがん悪液質と腫瘍内 PD-L1 発現に関する臨床的検討119
中邨 亮太、森本 健司、山田 忠明
京都府立医科大学大学院呼吸器内科学
- P10-2 非小細胞肺癌患者における血管新生阻害薬耐性後の免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する後方視的検討119
松井 遥平¹、谷村 恵子²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学大学院呼吸器内科学
²京都第二赤十字病院 呼吸器内科
- P10-3 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者を対象としたオシメルチニブ治療後の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測因子に関する臨床的検討120
森本 健司¹、東 公一²、山田 忠明¹
¹京都府立医科大学 大学院 呼吸器内科学
²久留米大学 医学部 呼吸器・神経・膠原病内科
- P10-4 転移・再発乳癌に対する T-DM1 の治療経験～特に、有害事象の管理について120
新関 浩人
北見赤十字病院 外科
- P10-5 固形がんに対する新規抗 Semaphorin 7A (SEMA7A) 抗体および抗体薬物複合体 (ADC) の開発121
山本 耕太郎
株式会社カイオム・バイオサイエンス
- P10-6 悪性胸膜中皮腫に対する抗ポドプラニン抗体および抗 CTLA-4 抗体による複合がん免疫療法の検討121
米田 浩人¹、三橋 惇志¹、荻野 広和¹、尾崎 領彦¹、矢葺 洋平¹、軒原 浩¹、阿部 真治²、加藤 幸成³、西岡 安彦¹
¹徳島大学大学院 医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野
²徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬学実務教育学分野
³東北大学大学院 医学系研究科 分子薬理学分野

ポスター11

耐性・感受性因子 1

【モデレーター】 衣斐 寛倫 (愛知県がんセンター)

- P11-1 抗がん剤治療の感受性を左右する核小体ストレス応答の役割の解明122
河原 康一、古川 龍彦
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍学分野
- P11-2 肝細胞がんにおける ABAT の役割解明122
辻井 勇気、西村 哲秀、芳賀 優弥
大阪大学大学院 薬学研究科
- P11-3 5-Fluorouracil 耐性機構としての thymidylate synthase による 5-FU 代謝活性体 FdUMP の捕捉123
西澤 菜々、佐藤 聡
東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室

- P11-4 薬剤曝露ストレスに着目した薬剤抵抗性非小細胞肺がんの生存機構解明.....123
西村 哲秀、辻井 勇氣、芳賀 優弥
大阪大学大学院薬学研究科
- P11-5 CD44v 陽性治療抵抗性子宮頸癌の酸化ストレス耐性の抑制による化学療法増感.....124
永澤 秀子¹、森 美奈子²、辻 美恵子¹、平山 祐¹、森重 健一郎²
¹岐阜薬大・薬・薬化学
²岐阜大・院・産婦
- P11-6 Gemcitabine 耐性臓器がん細胞の作出と耐性機構の解析.....124
住井 遥、佐藤 聡
東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室

6月30日 (木) 18:00-18:30

ポスター会場1 (2F ホワイエ)

ポスター12

耐性・感受性因子 2

【モデレーター】 吉丸 哲郎 (徳島大学 先端酵素学研究所)

- P12-1 ALK 陽性肺がんの NRG1/HER3 活性化による Lorlatinib への獲得耐性と Pan-HER 阻害薬による耐性克服.....125
赤城 和優^{1,2,3}、谷口 寛和²、道津 洋介²、山口 博之²、山田 忠明⁴、矢野 聖二^{5,6,7}、迎 寛²
¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子標的医学分野
²長崎大学病院 呼吸器内科
³国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野
⁴京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学
⁵金沢大学医薬保健研究域医学系呼吸器内科学
⁶金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
⁷金沢大学ナノ生命科学研究所
- P12-2 多剤耐性慢性骨髄性白血病細胞の各種 HDAC 阻害剤に対する感受性とその耐性克服125
外村 奈夕¹、奥平 桂一郎²、尾崎 恵一¹
¹同志社女子大学 薬学部 病態分子制御
²大阪医科大学薬学部 衛生化学
- P12-3 エピジェネティクス治療薬に耐性を獲得した成人 T 細胞白血病／リンパ腫細胞株に対する治療126
倉橋 祐樹^{1,2}、嬉野 博志^{1,3}、蒲池 和晴^{1,3}、山本 雄大¹、渡邊 達郎¹、木村 晋也^{1,3}
¹佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座
²大原薬品工業株式会社
³佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
- P12-4 大腸癌における新規スプライシング因子 SPF45/RBM17 発現の臨床病理学的意義.....126
辻尾 元^{1,2,3}、八代 正和^{1,2}
¹大阪市立大学大学院 消化器外科学
²大阪市立大学大学院 癌分子病態制御学
³大阪市立大学大学院 難治癌TRセンター
- P12-5 共培養 ex vivo モデルを用いた Her2 抗体薬物複合体の薬効評価127
白石 明梨^{1,2}、大原 智子¹、西尾 誠人³、藤田 直也⁴、片山 量平^{1,2}
¹(公財)がん研・化療セ・基礎研究部
²東大・新領域・メディカル情報生命
³(公財)がん研・有明病院・呼吸器内科
⁴(公財)がん研・化療セ

6月30日 (木) 17:15-17:51

ポスター会場2 (3F ホワイエ)

ポスター5

浸潤・転移

【モデレーター】 安本 和生 (金沢医科大学 腫瘍内科学講座)

- P5-1 滑膜肉腫細胞に対する HDAC 阻害剤と SN38 の併用効果.....104
 笹川 覚
 野崎徳洲会病院 附属研究所 分子生物学研究部
- P5-2 同所性移植手法を用いた NMuMG-HOXB7 細胞の転移能評価.....105
 東 和志¹、中山 淳²、仙波 憲太郎^{1,3}
¹早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻
²国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野 病態情報学ユニット
³福島県立医大 医産TRセンター
- P5-3 Rhosin による Rho/YAP 経路阻害を介した RHAMM 及び CXCR4 発現抑制による
 がん転移抑制効果.....105
 椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、岸本 佳奈、竹藤 帆花、西田 升三
 近畿大学薬学部薬物治療学研究室
- P5-4 Crumbs 結合タンパク質 PTPN3 は大腸腺癌細胞の移動を促進する.....106
 飯岡 英和、齋藤 憲、高田 尚良、近藤 英作
 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子細胞病理学分野
- P5-5 FMNL1 の発現は悪性膠芽腫の運動性と浸潤性に関わる予後不良因子である.....106
 古川 龍彦¹、河原 康一²、南 謙太郎³
¹鹿児島大学 医歯研 病理学
²鹿児島大学 医歯研 分子腫瘍学
³宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
- P5-6 スクテラリンによる Girdin 抑制を介した膀胱癌遊走能制御に関する検討.....107
 林 祐一、松尾 洋一
 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学

6月30日 (木) 17:15-17:45

ポスター会場2 (3F ホワイエ)

ポスター6

ケミカルバイオロジー

【モデレーター】 伊藤 昭博 (東京薬科大学生命科学部)

- P6-1 デコイ核酸を利用したキメラ分子による標的タンパク質分解.....107
 大岡 伸通¹、内藤 幹彦²、出水 庸介¹
¹国立医薬品食品衛生研究所
²東京大学
- P6-2 MDA-MB-231 細胞の中心体クラスタリング阻害活性を有する kolavenic acid analog の薬剤併用
 実験による標的分子の同定.....108
 古山 達貴、木村 賢一
 岩手大院 総合科学研究科

P6-3	YAP-TEAD 間相互作用を標的とした Hippo 経路阻害剤の開発.....108 関根 咲彩 ^{1,2} 、高瀬 翔平 ¹ 、則次 恒太 ¹ 、松本 健 ^{2,5} 、長田 裕之 ^{3,4} 、吉田 稔 ^{2,5,6} 、伊藤 昭博 ^{1,2} ¹ 東京薬科大・生命科学 ² 理研CSRS・ケミカルゲノミクス ³ 理研CSRS・ケミカルバイオロジー ⁴ 理研CSRS・創薬ケミカルバンク ⁵ 理研CSRS・創薬シード ⁶ 東大院農・応生工、微生物連携機構
P6-4	リガンド連結型有機光増感剤による標的タンパク質特異的不活性化と抗腫瘍効果.....109 三浦 一輝、中村 浩之 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所
P6-5	c-Myc 阻害小分子探索系の構築と探索.....109 渡辺 信元 ¹ 、石川 公輔 ² 、仙波 憲太郎 ^{3,4} 、長田 裕之 ¹ ¹ 理研環境資源科学研究センター化合物リソース開発研究ユニット ² バイオ産業情報化コンソーシアム ³ 早稲田大学大学院 先進理工学研究科 ⁴ 福島県立医大 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

6月30日 (木) 17:15-17:51

ポスター会場2 (3F ホワイエ)

ポスター7

新規治療標的 1

【モデレーター】 川谷 誠 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

P7-1	長鎖アルキル基を有するエストロゲン受容体 β 選択的アンタゴニストの開発.....110 正田 卓司 ¹ 、出水 庸介 ^{1,2} ¹ 国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 ² 横浜市立大学 生命医科学研究科
P7-2	ドーパミン拮抗薬ドンペリドンは受容体非依存的にがん細胞の拡大を抑制する.....110 青山 愛 ¹ 、渡辺 信元 ² 、長田 裕之 ² 、仙波 憲太郎 ^{1,3} ¹ 早稲田大学先進理工学研究科生命医科学専攻 ² 理研環境資源科学研究センター化合物リソース開発研究ユニット ³ 福島県立医科大学・TRセンター
P7-3	コノフィリンの ARL6ip1-Ran 経路阻害によるヒト大腸がん細胞の遊走・浸潤抑制.....111 Yinzhi Lin ^{1,2} 、伊藤 秀明 ³ 、梅澤 一夫 ¹ ¹ 愛知医科大学医学部分子標的医薬寄附講座 ² 愛知医科大学医学部感染・免疫学講座 ³ 愛知医科大学医学部病理学講座
P7-4	新規創薬標的分子 TELO2 を介したイベルメクチンによる Wnt/ β -catenin 経路阻害作用の解析 ...111 米澤 穂波、氏家 悠貴、上原 至雅、西谷 直之 岩手医科大学 薬学部
P7-5	骨肉腫に有効な新規分子標的薬の探索とその作用機序の解析.....112 高木 聡 ¹ 、小池 清恵 ¹ 、竹本 愛 ¹ 、藤田 直也 ² 、片山 量平 ¹ ¹ (公財)がん研究会・がん化学療法センター・基礎研究部 ² (公財)がん研究会・がん化学療法センター
P7-6	口腔扁平上皮癌治療標的としての miR-346 の有用性.....112 白井 博之、中城 公一、徳善 紀彦、雑賀 将斗、内田 大亮 愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座

ポスター8

キナーゼ阻害薬

【モデレーター】 小谷 浩 (金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科)

- P8-1 FLT3-ITD による GCN2 経路を介した ATF4 の発現誘導.....113
加藤 優、近藤 慎吾、杉本 芳一
慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座
- P8-2 金沢大学病院における進行性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬/VEGFR チロシンキナーゼ阻害薬併用療法の初期経験.....113
八重樫 洋、中川 竜之介、青山 周平、門本 卓、泉 浩二、溝上 敦
金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学
- P8-3 進行性腎細胞癌に対する Cabozantinib の初期使用経験.....114
門本 卓、中川 竜之介、青山 周平、八重樫 洋、泉 浩二、溝上 敦
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学
- P8-4 新規 ALK 阻害剤 repotrectinib と ensartinib の耐性変異予測.....114
土井 雄太¹、仙波 憲太郎^{1,2}
¹早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻
²福島県立医科大学 TRセンター
- P8-5 放射線治療後にパゾパニブが奏効した PDGFRB N666K 陽性左房原発内膜肉腫の一例.....115
西山 明宏、柳村 尚寛、鈴木 千晶、谷本 梓、竹内 伸司、大坪 公士郎、矢野 聖二
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
- P8-6 癌性心膜炎を伴う超高齢進行 ALK 陽性非小細胞肺癌の 1 例.....115
葛西 傑、安本 和生
金沢医科大学 腫瘍内科学

ポスター13

ドラッグデリバリー・その他

【モデレーター】 松本 陽子 (崇城大学大学院工学研究科応用生命科学専攻)

- P13-1 多糖核酸複合体を認識する新たな受容体の同定.....127
隅谷 和樹¹、和泉 弘人²、櫻井 和朗¹
¹北九州市立大学
²産業医科大学
- P13-2 二種類のアンチセンス核酸を同時送達する多糖核酸複合体の創製とがん細胞増殖抑制効果の検討..128
秦 祐基¹、隅谷 和樹¹、和泉 弘人²、櫻井 和朗¹
¹北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 環境システム専攻
²産業医科大学 生態科学研究所 呼吸病態学
- P13-3 光を利用した体に優しいがん治療技術の開発.....128
芳賀 早苗¹、森田 直樹²、尾崎 倫孝^{1,3}
¹北海道大学 保健科学研究所 生体応答制御医学分野
²産業技術総合研究所 生命工学領域 生物プロセス研究部門
³北海道大学 保健科学研究所 生体分子・機能イメージング部門

- P13-4 癌深部治療法開発のための近赤外光遺伝子発現制御系利用の可能性.....129
森田 直樹¹、芳賀 早苗²、尾崎 倫孝^{2,3}
¹産業技術総合研究所 生命工学領域 生物プロセス研究部門
²北海道大学 大学院保健科学研究院 生体応答制御医学分野
³北海道大学 保健科学研究院 生体分子・機能イメージング部門
- P13-5 ホウ素中性子補足療法のための LAT1 輸送基質を模した ¹⁰B クラスター含有アミノ酸の開発.....129
新津 明穂、辻 美恵子、平山 祐、永澤 秀子
岐阜薬大・薬・薬化学
- P13-6 新規に開発した血漿交換膜による細胞外小胞の除去と、細胞外小胞の除去が抗体薬物複合体の治療効果に与える影響の検討.....130
大矢 和正¹、松阪 諭²
¹筑波大学医学医療系皮膚科
²筑波大学つくば臨床医学研究開発機構

6月30日 (木) 18:00-18:30

ポスター会場2 (3F ホワイエ)

ポスター14

がん代謝・増殖因子・サイトカイン

【モデレーター】 曾和 義広 (京都府立医科大学 教育センター)

- P14-1 急性骨髄性白血病に対する OR-2100 と venetoclax の経口剤併用療法の前臨床試験.....130
蒲池 和晴^{1,2}、嬉野 博志^{1,2}、川副 和紀^{1,2}、山本 雄大^{1,2}、倉橋 祐樹^{1,3}、渡邊 達郎¹、木村 晋也^{1,2}
¹佐賀大学 医学部 創薬科学共同研究講座
²佐賀大学 医学部 血液腫瘍内科
³大原薬品工業株式会社
- P14-2 低栄養環境に特異的ながん代謝遺伝子の発現誘導メカニズムの解明.....131
小野寺 威文、大庭 俊一、百瀬 功、川田 学
(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究 沼津支所
- P14-3 リンパ節転移陽性前立腺癌における CXC ケモカイン/受容体発現.....131
長屋 直哉、永田 政義、堀江 重郎
順天堂大学大学院泌尿器外科学
- P14-4 胆道癌における CXCL1-CXCR2 シグナルの意義と分子標的の可能性.....132
山本 百合恵^{1,2}、八代 正和^{1,2,3}
¹大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学
²大阪市立大学大学院 難治癌TRセンター
³大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器外科学
- P14-5 Gapapentin 及び Duloxetine は ERK1/2 の活性阻害を介してオキサリプラチン及びパクリタキセル誘発末梢神経障害を抑制する.....132
西田 升三、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、木村 智裕、田中 滂美
近畿大学薬学部薬物治療学研究室

ポスター15

がん幹細胞・不均一性・バイオマーカー

【モデレーター】 坂井 和子 (近畿大学医学部ゲノム生物学教室)

- P15-1 ドキシサイクリン誘導性休眠・増殖モデルを用いたがん幹細胞の休眠維持機構の解明**.....133
 告 恭史郎¹、田原 栄俊²、嶋本 顕¹
¹山陽小野田市立山口東京理科大学・薬学部・再生医療学
²広島大学・大学院医歯薬保健学研究科・細胞分子生物学
- P15-2 制がん剤処理後の残存胃がん細胞における治療抵抗性因子 ALDH1A3 発現のエピゲノム制御**.....133
 李 珍^{1,2}、馬島 哲夫¹、清宮 啓之^{1,2}
¹(公財)がん研究会 がん化学療法センター 分子生物治療研究部
²東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻
- P15-3 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌患者における腫瘍内ゲノムプロファイルの経時的変化**.....134
 木場 隼人、木村 英晴、矢野 聖二
 金沢大学病院 呼吸器内科
- P15-4 トランスポゾンシステムを用いた遺伝子トラップ法による様々なレポーター細胞作製技術**.....134
 石川 公輔¹、仙波 憲太郎^{2,3}
¹バイオ産業情報化コンソーシアム
²早稲田大学大学院 先進理工学研究科
³福島県立医大 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
- P15-5 MTX 関連リンパ増殖疾患/リンパ腫での LMP1 遺伝子の病態形成における役割と予後予測の検討**....135
 高田 尚良、近藤 英作
 新潟大学・医・分子病理